

# 安寿 あんじゅ

大切にしたい。  
自立への気持ちと思いやり。

## バスボード 取扱説明書

保証書付

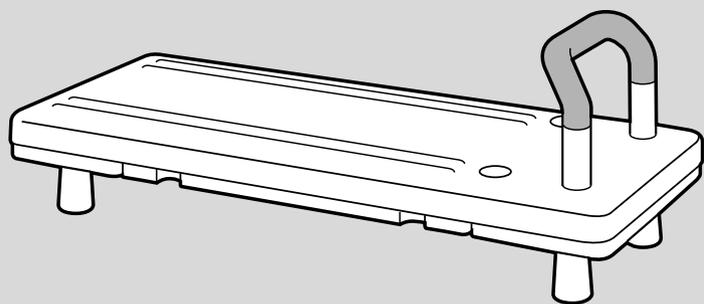
最大使用者体重：100kg

このたびはバスボードをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。  
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。  
なお、この取扱説明書（保証書）は大切に保管してください。

●保証書は「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

### もくじ

安全上のご注意	1
取り付けの前に・各部のなまえ・特長	2
組み立てかた・取り付けかた	3
取り付けかた・使いかた	4
使いかた・お手入れの方法	5~6
保証とアフターサービス	6
保証書	7



# 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

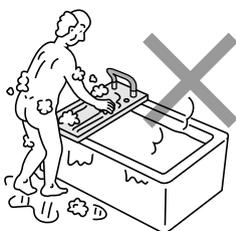
-  **警告** 誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
-  **注意** 誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）  
 必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。  してはいけない「禁止」内容を説明しています。

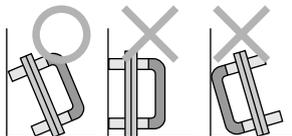
## 注意

ご使用前に必ずストッパーゴムにゆるみのないことを確認すること  
 くり返し使用するうちにゆるみが発生し、バスボードが動く可能性があります。

身体やバスボードにシャンプーや石けんがついたままのご使用は、滑りやすく危険なので、よく洗い流してから使用すること  
 転倒し、けがの原因になります。



 壁にたてかけたバスボードは倒れないよう注意すること  
 本体が破損する恐れがあります。

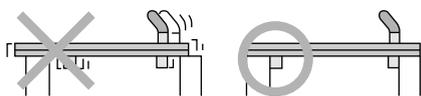


滑りやすいので、全ての動作はゆっくりと行うこと  
 浴槽内での動作はバスボードに体をひっかかないよう注意すること  
 けがの原因になります。

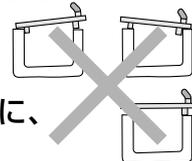


使用者が自分の身体を十分に安定させられない場合は、必ず介助者が付き添うこと

 取り付け時、ストッパーゴムと浴槽のふちとの間に隙間をつくらないこと  
 隙間があると、体重をかけた時にバスボードが動く可能性があり、危険です。



ストッパーゴムを浴槽のふちの上に乗せて使用しないこと  
 ストッパーゴムと浴槽のふちとの幅が合わない場合に、無理に押し込まないこと  
 ストッパーゴムが破損する恐れがあります。



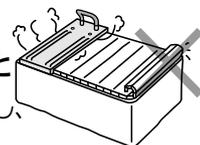
バスボードと浴槽の間に隙間をつくらないこと  
 浴槽の中央付近への取り付けはしないこと  
 転倒し、けがの原因になります。



バスボードでお湯をかきまぜたり、浴槽の中に入れて使用しないこと



 風呂蓋の代わりにしたり、バランスがまの上に置かないこと  
 プラスチックが変形、または破損し、けがの原因になります。



子供を遊ばせる等、他の用途では使用しないこと  
 けがの原因になります。



バスボードを踏み台にしないこと  
 転倒し、けがの原因になります。



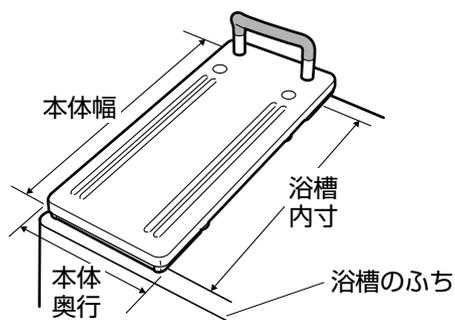
体重が100kgを超える方は使用しないこと  
 本体が破損する恐れがあります。

お手入れの際は、タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと  
 塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと  
 プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。

# 取り付けの前に

●本体と浴槽のサイズを再度ご確認ください。

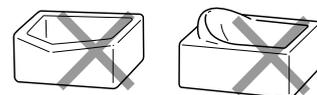
(単位：cm)



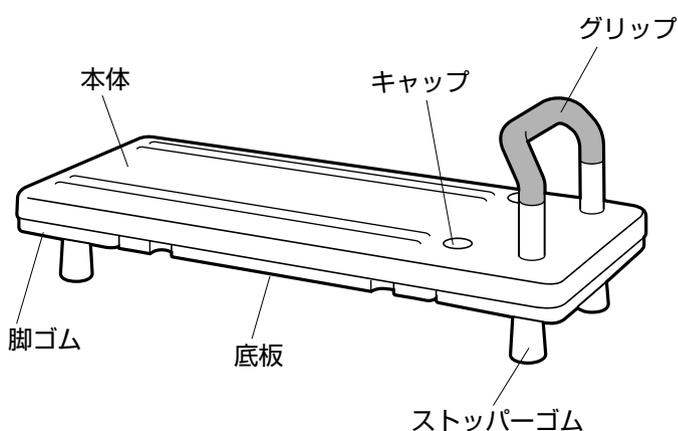
本体サイズ		取り付け可能な浴槽のサイズ	⚠️注意
幅	奥行	浴槽内寸	
73	32	55~70	



ふちが平らな浴槽に使用すること  
浴槽のふちが傾斜しているものには  
使用しないこと



## 各部のなまえ

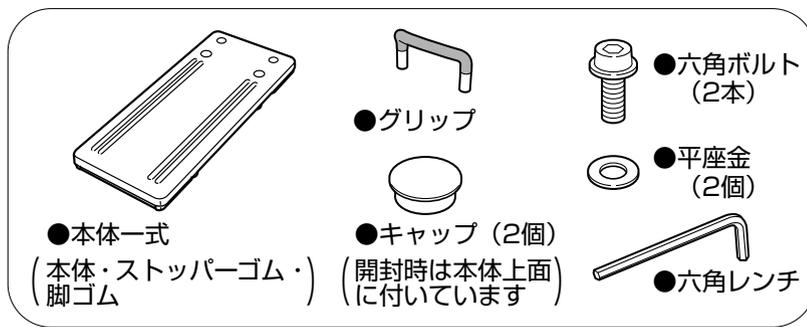
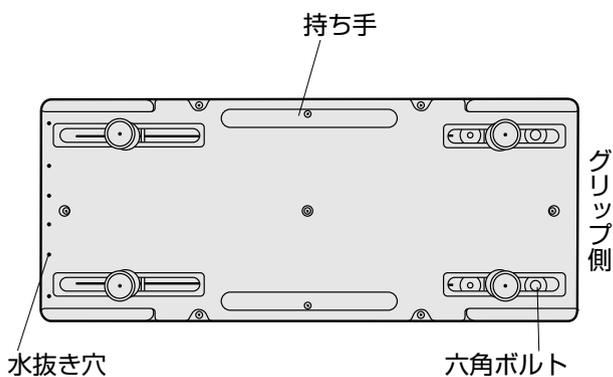


## 仕様

品名	バスボード	
材質	本体・グリップ	ポリプロピレン
	脚ゴム・ストッパーゴム・グリップ被覆材	エラストマー
	キャップ	
	底板	ABS樹脂
サイズ	73×32×高さ24cm	
重量	約3.1kg	

## 部材・付属品

※開梱したら、まず部品と付属品の数を確認してください。

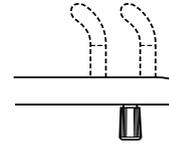


## 特長

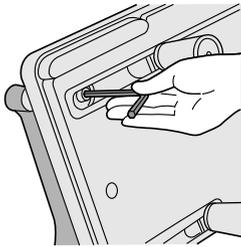
- グリップは握りやすい二層式。しかもからだに合わせて取り付け位置が選べます。
- グリップカラーには湯気の中でも見やすい赤色を採用。
- 本体は73×32cmと安心感のある広く長めのサイズです。
- 本体は強度のある二重構造で、裏面はフラット。グリップ取り付け部の出っ張りもありません。
- 壁に立てかけるときに滑りにくい脚ゴムつき。

# 組み立てかた

## ●グリップを取り付ける。



- ①使う方の体形や症状に合わせてグリップの位置を決めます。
- ②付属の六角レンチを使用し、六角ボルト2本でグリップを確実に固定してください。

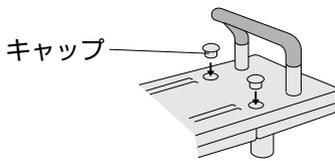


付属の六角レンチで  
固定



- ネジが確実に固定されたか、確認すること  
グリップががたついたり、外れたりする恐れがあります。
- グリップは手前に向くように取り付けること

- ③使わないグリップの取付け穴は、キャップでふさいでください。



キャップ

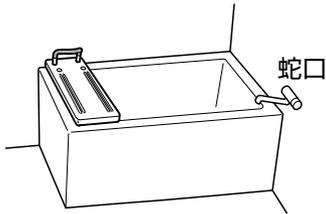


- 必ずキャップでふさぐこと  
キャップをしないと、指が穴に入り、けがの原因になります。

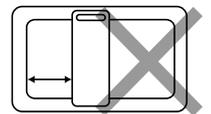
# 取り付けかた

## 1 取り付け位置

取り付け位置は、原則として蛇口と反対の位置に、グリップを壁側に向けて取り付けてください。  
また、できるだけ浴槽の端に寄せます。



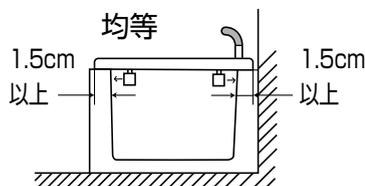
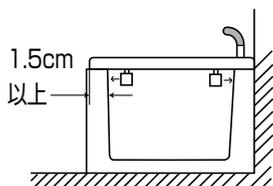
- 浴槽の中央付近への取り付けはしないこと  
転倒し、けがの原因になります。
- バスボードのグリップを洗い場側に向け  
手すりとして使用しないこと



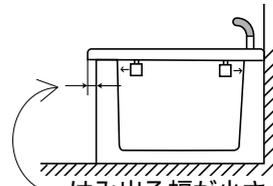
## 2 位置決め

位置決めは、下図のように行ってください。

- バスボード幅が、浴槽の幅より短い場合



- バスボード幅が、浴槽の幅より長い場合



はみ出る幅が小さくなるように置いてください。

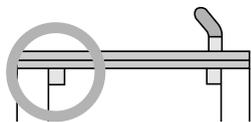


- はみ出る幅が大きい場合に、浅く腰掛  
けると、本体が外れ転倒する恐れがあ  
るため深く腰掛けること

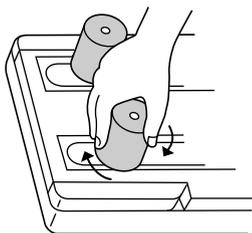
# 取り付けかた

## 3 ストッパーの調節 (4カ所)

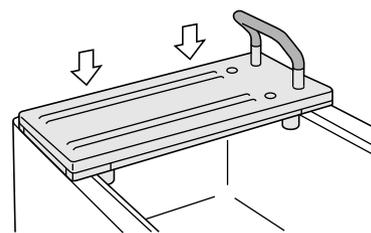
①取り付け位置は蛇口と逆方向です。できるだけ浴槽の端に寄せ、浴槽の内側の寸法に合わせてストッパーゴムの位置を決めます。このとき、ストッパーゴムが浴槽のふちにぴったりと沿うようにしてください。



②ストッパーゴムは右にねじると締まります。きっちりと固定してください。

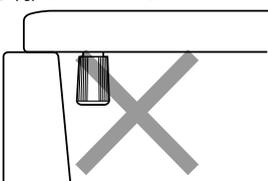


③浴槽のふちの上に、バスボード本体が完全に乗るように取り付けてください。

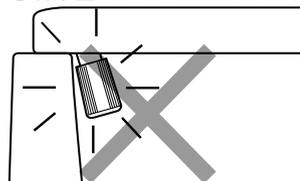


⚠  
注意

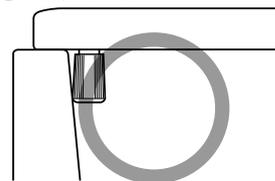
●離れている



●無理がかかっている



●ピッタリ



## 使いかた

- 身体の安定が保てない場合は、介助者の付き添いが必要です。
- グリップやバスボード本体の取り付けにガタつきがないか確認してからご使用ください。

浴槽に入るとき (介助者がついていない場合)

1 なるべく深く座らせます。



2 可能な場合はグリップにつかまらせます。



3 身体の向きを変えながら、浴槽の中に片方ずつ足を入れてください。



4 介助者は、介護される人のわきの下から身体を抱きかかえながら、空いている手でバスボードを壁側にたてかけます。このとき、滑らないよう脚ゴムのついてる方を壁に向けてください。(介護される人の手を首にかけさせると楽です。)



※壁側にたてかけるだけの安定したスペースのない場合は、取り外してお使いください。



5 そのまま静かにお湯につかせます。



# 使いかた

## 浴槽から出るとき（介助者がついている場合）

1 両手で介護される人の身体をしっかり支えながら、立ち上がらせてます。



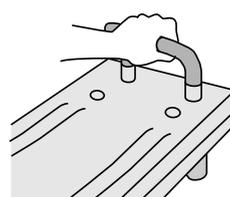
2 なるべく深く座らせ、身体の向きを変えながら足を浴槽の中から外へ移させます。



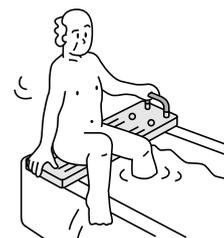
3 わきの下から身体を抱きかかえて立ち上がらせてます。



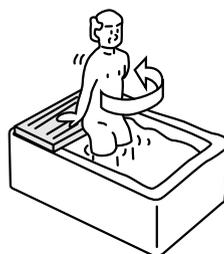
2 順手でグリップにつかまってください。



3 身体の向きを変えながら、浴槽の中に片方ずつ足を入れてください。



4 グリップにつかまっまま浴槽内で立ち上がり、身体の向きを180°回転させます。



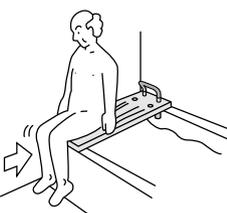
5 そのまま静かにつかまります。



6 出るときは、入るとき逆の手順で行ってください。

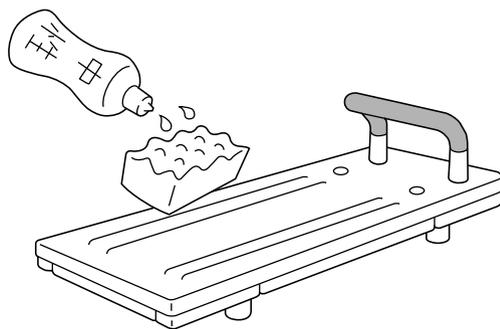
## 浴槽に入るとき（ひとりの場合）

1 なるべく深く座ってください。



## お手入れの方法

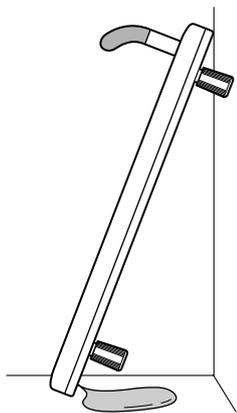
- 中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布にふくませ、汚れを取ったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか、乾いた布で空ぶきしてください。



- 脚ゴム・ストッパーゴムはお手入れのとき外せるようハメ込みであるだけです。ご使用になる前に、所定の場所へ取りついていることをご確認ください。
- グリップ・脚ゴム・ストッパーゴム・キャップ・ネジ類などは代用品を使用すると危険です。紛失したり、破損した場合は、新しい部品をお買い求めください。

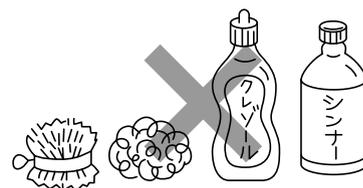
# お手入れの方法

- 本体に水がはいたら、グリップを上にして壁にたてかけ、水抜き穴から水をぬいてください。



注意

- ※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
  - ※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
- プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



## 保証とアフターサービス よくお読みください

### ■保証書

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

保証期間：お買い上げ日から1年間

### ■修理を依頼される時

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中は  
保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 保証期間を過ぎているときは  
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理料金の仕組み  
修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。  
**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。  
**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。